

安来市公共施設等総合管理計画

資料編

集中期間：令和4年度～令和13年度

令和6年度 集中期間の3年目

令和6年（2024年）3月

安 来 市

1 安来市公共施設等総合管理計画【資料編】について

この【資料編】は、安来市公共施設等総合管理計画に記載する、施設類型ごとの管理に関する基本的な方針を踏まえて、令和4年度からの10年間を集中期間として、各施設の今後の方向性や取組内容と、方向性に対する優先度を「A」「B」「C」の区分で示したものです。

各施設の、今後の方向性や取組内容、優先度の区分は、施設そのものの状態、利用状況を踏まえ、安来市公共施設利活用推進会議において決定します。

なお、この【資料編】は、安来市公共施設利活用推進会議での議論の結果によって、優先度の区分、方向性等の変更もあり得るため、毎年度見直しを行うこととします。

2 各施設の方向性に対する優先度

令和4年度から令和13年度までの10年間を集中期間として、各施設に優先度の区分を設けて取り組みます。

それぞれの区分は以下のとおりです。

A：優先度「高」

概ね3年以内に、今後の方向性に沿った具体的な方針策定、取組を実施するもの。

※建替、大規模改修等の実施年度は、中期財政計画を踏まえて検討する。

B：優先度「中」

概ね10年以内に、今後の方向性に沿った中長期的な方針策定、取組を実施するもの。

※建替、大規模改修等の実施年度は、中期財政計画を踏まえて検討する。

C：優先度「低」

概ね10年以内は現在の状態を維持するもの。

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R 6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
市民文化系施設	集会施設	1	広瀬	広瀬町民会館	1958	木造	377	66	C(3年目)		C(2年目)	
		7	伯太	旧奥野邸	1872	木造	736	152	A(3年目)	地元への譲渡又は解体を検討。	A(2年目)	地元への譲渡又は解体を検討。
		11	安来	隣保館・大塚ふれあいセンター	1965	木造	223	59	A(1年目)	建物を解体し大塚消防団車庫を整備。 (理由)大塚消防団車庫整備事業に着手するため。	A(1年目)	公営住宅整備に併せた跡地利用による施設解体。 (理由)公営住宅の計画に合わせ区分変更。
		167	安来	十神地区学習等供用施設	1982	鉄筋コンクリート造	384	42	C(3年目)		C(2年目)	
		173	広瀬	西谷生活改善センター	1978	鉄筋コンクリート造	238	46	C(3年目)		C(2年目)	
		177	伯太	はくた文化学習館	2002	木造	1,631	22	C(3年目)		C(2年目)	
		178	伯太	安田交流センター	1975	鉄骨造	407	49	C(3年目)		C(2年目)	
		181	安来	安来中央交流センター	1980	鉄筋コンクリート造	2,220	44	C(3年目)		C(2年目)	
		182	伯太	井尻交流センター	1973	鉄骨造	376	51	A(3年目)	耐震改修に向け調整。	A(2年目)	耐震改修に向け調整。
		183	伯太	井尻老人憩の家	1977	木造	128	47	C(3年目)		C(2年目)	
		184	安来	宇賀荘交流センター	1985	鉄筋コンクリート造	350	39	C(3年目)		C(2年目)	
		185	広瀬	宇波交流センター	1979	鉄筋コンクリート造	1,507	45	C(3年目)		C(2年目)	
		186	広瀬	奥田原交流センター	2004	木造	339	20	C(3年目)		C(2年目)	
		187	広瀬	下山佐交流センター	1970	鉄骨造	371	54	C(3年目)		C(2年目)	
		188	安来	吉田交流センター	1987	鉄筋コンクリート造	350	37	C(3年目)		C(2年目)	
		190	広瀬	広瀬中央交流センター	1974	鉄筋コンクリート造	2,096	50	A(3年目)	複合施設として建替を検討。(実施設計の実施)	A(2年目)	複合施設として建替を検討。(実施設計の実施)
192	安来	荒島交流センター	1987	鉄筋コンクリート造	384	37	C(3年目)		C(2年目)			
193	広瀬	山佐交流センター	1977	鉄筋コンクリート造	412	47	B(1年目)	旧山佐小学校を移転先として調査。 (理由)移転に向けた調査実施による方向性と区分変更。	C(2年目)	移転に向けた検討。		

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
市民文化系施設	集会施設	195	安来	社日交流センター	1983	鉄筋コンクリート造	384	41	C(3年目)		C(2年目)	
		197	広瀬	菅原交流センター	1979	鉄骨造	238	45	C(3年目)		C(2年目)	
		198	広瀬	西谷交流センター	1991	鉄筋コンクリート造	1,549	33	C(3年目)		C(2年目)	
		200	伯太	赤屋交流センター	1982	鉄筋コンクリート造	415	42	C(3年目)		C(2年目)	
		201	安来	赤江交流センター	1988	鉄筋コンクリート造	384	36	C(3年目)		C(2年目)	
		202	安来	大塚交流センター	1986	鉄筋コンクリート造	350	38	C(3年目)		C(2年目)	
		203	安来	島田交流センター	1984	鉄筋コンクリート造	436	40	C(3年目)		C(2年目)	
		204	広瀬	東比田交流センター	1981	鉄筋コンクリート造	1,467	43	C(3年目)		C(2年目)	
		205	安来	能義交流センター	1985	鉄筋コンクリート造	384	39	C(3年目)		C(2年目)	
		206	伯太	伯太中央交流センター	1988	鉄筋コンクリート造	1,118	36	C(3年目)		C(2年目)	
		207	安来	飯梨交流センター	1989	鉄筋コンクリート造	438	35	C(3年目)		C(2年目)	
		208	広瀬	比田交流センター	1981	鉄筋コンクリート造	750	43	C(3年目)		C(2年目)	
	209	広瀬	布部交流センター	1999	鉄筋コンクリート造	490	25	C(3年目)		C(2年目)		
	文化施設	258	安来	安来市総合文化ホール	2017	鉄筋コンクリート造	7,502	7	C(3年目)		C(2年目)	
社会教育系施設	博物館等	4	広瀬	広瀬町名誉町民顕彰館	2003	木造	275	21	C(3年目)		C(2年目)	
		159	安来	和鋼博物館	1992	鉄筋コンクリート造	4,138	32	A(1年目)	長寿命化改修、展示改修の実施。 (理由)長寿命化改修、展示改修に向け方向性変更。	A(2年目)	長寿命化改修、内部リニューアルを検討。(実施設計の実施)
		161	広瀬	比田収蔵庫(旧金屋子神話民俗館)	1993	鉄骨鉄筋コンクリート造	713	31	C(2年目)		C(1年目)	比田収蔵庫として位置づけ、維持管理を行う。 (理由)閉館に伴い区分変更。
		162	安来	赤江民俗資料収蔵庫	1929	木造	413	95	A(3年目)	収蔵品を移転し解体を検討。	A(2年目)	収蔵品を移転し解体を検討。

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
社会教育系施設	博物館等	163	伯太	伯太民俗資料収蔵庫	1975	木造	367	49	A(3年目)	収蔵品を移転し解体を検討。	A(2年目)	収蔵品を移転し解体を検討。
		164	広瀬	歴史資料館	1981	鉄骨鉄筋コンクリート造	465	43	B(3年目)	絣センター、歴史資料館の一体的な管理を検討。	B(2年目)	絣センター、歴史資料館の一体的な管理を検討。
		165	広瀬	奥田原民俗資料収蔵庫	1975	鉄骨鉄筋コンクリート造	244	49	A(3年目)	収蔵品を移転し解体を検討。	A(2年目)	収蔵品を移転し解体を検討。
		166	広瀬	加納美術館	1996	鉄骨鉄筋コンクリート造	800	28	C(3年目)		C(2年目)	
	図書館	160	安来	安来市立図書館	2003	鉄筋コンクリート造	1,161	21	C(3年目)		C(2年目)	
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	168	安来	安来運動公園	2002	鉄骨造	2,242	22	C(3年目)	国民スポーツ大会に向けた施設整備を検討。	C(2年目)	国民スポーツ大会に向けた施設整備を検討。
		170	安来	安来市民体育館	1982	鉄筋コンクリート造	6,722	42	C(3年目)	国民スポーツ大会に向けた施設整備を検討。	C(2年目)	国民スポーツ大会に向けた施設整備を検討。
		172	広瀬	広瀬体育館	1965	鉄骨造	870	59	C(3年目)		C(2年目)	
		174	安来	南体育館	1983	鉄骨造	1,075	41	C(3年目)		C(2年目)	
		176	伯太	伯太体育館	1980	鉄筋コンクリート造	2,302	44	A(3年目)	耐震改修工事を実施。	A(2年目)	耐震改修工事を実施。
		179	安来	安来球場管理舎	1984	鉄骨造	303	40	C(3年目)		C(2年目)	
		180	安来	安来市民プール	1989	鉄骨造	1,124	35	B(3年目)	小学校プールの集約化を見据え、施設の整備を計画。	B(2年目)	小学校プールの集約化を見据え、施設の整備を計画。
		189	広瀬	勤労者体育センター	1971	鉄筋コンクリート造	262	53	B(3年目)	小学校プールの集約化を見据え、施設の整備を計画。	B(2年目)	小学校プールの集約化を見据え、施設の整備を計画。
		191	広瀬	広瀬町総合体育館	1977	鉄筋コンクリート造	3,860	47	C(3年目)		C(2年目)	
		194	伯太	伯太運動広場	1982	木造	97	42	C(3年目)		C(2年目)	
		199	安来	西部球場管理棟	1995	木造	244	29	C(3年目)		C(2年目)	
		210	広瀬	旧布部中学校	1992	鉄筋コンクリート造	723	32	C(3年目)		C(2年目)	
	レクリエーション施設・観光施設	64	伯太	上の台緑の村	1991	木造	1,253	33	A(1年目)	民間事業者による2年間のトライアル事業を実施。(理由)事業者決定により方向性変更。	A(2年目)	民間への譲渡売却も含めた利活用の検討。

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R 6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性	
スポーツ・レクリエーション施設	レクリエーション施設・観光施設	65	安来	やすぎ懐古館一風亭	不明	木造	1,075	不明	C(3年目)		C(2年目)		
		66	安来	安来節演芸館	2005	木造	2,212	19	C(1年目)	(理由)指定管理者による施設運営、レストラン棟の運営再開により方向性変更。	A(1年目)	施設運営の方向性を検討するため、一時休館し空調設備等改修を実施。 (理由)方向性を変更。	
		67	広瀬	広瀬緋センター	1984	鉄骨造	465	40	B(3年目)	緋センター、歴史資料館の一体的な管理を検討。	B(2年目)	緋センター、歴史資料館の一体的な管理を検討。	
		72	安来	観光交流プラザ	2007	木造	751	17	C(3年目)		C(2年目)		
		73	伯太	比婆山観光案内所	2012	木造	53	12	C(3年目)		C(2年目)		
		77	広瀬	山佐ダム体験交流施設	2004	木造	203	20	C(3年目)		C(2年目)		
		78	広瀬	コテージやまびこ	1998	木造	180	26	C(3年目)		C(2年目)		
		83	広瀬	三日月公園ふれあい館	2011	木造	108	13	C(3年目)		C(2年目)		
		226	安来	道の駅あらエッサ	2010	木造	849	14	C(3年目)		C(2年目)		
	保養施設	30	安来	夢ランドしらさぎ	1996	鉄骨造	3,737	28	A(3年目)	施設の運営を含め様々な視点から検討。	A(2年目)	施設の運営を含め様々な視点から検討。	
		68	広瀬	富田山荘	1977	鉄筋コンクリート造	2,061	47	A(3年目)	民間への譲渡売却も含めた利活用を検討。	A(2年目)	民間への譲渡売却も含めた利活用を検討。	
		69	広瀬	湯田山荘	2003	鉄骨造	1,569	21	C(1年目)	(理由)冬期一時居住施設の改修完了、新たな指定管理者による運営を開始するため区分変更。	A(2年目)	小さな拠点づくり事業(冬季一時居住施設)として施設改修。	
		75	広瀬	憩いの家	1996	木造	217	28	C(3年目)		C(2年目)		
	産業系施設	産業系施設	55	広瀬	育成乳牛館	1969	鉄骨造	697	55	C(3年目)		C(2年目)	
			59	安来	新規就農研修生滞在施設	1997	木造	262	27	C(3年目)		C(2年目)	
60			安来	飯梨共同作業所	1977	木造	66	47	C(3年目)		C(2年目)		
225			安来	安来市学習訓練センター	2005	鉄筋コンクリート造	1,151	19	C(3年目)		C(2年目)		
251			広瀬	安来ふるさと公社	1999	鉄骨造	200	25	C(3年目)		C(2年目)		

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
産業系施設	産業系施設	261	広瀬	就農者定住促進賃貸住宅・西比田	2016	木造	108	8	C(3年目)		C(2年目)	
		262	安来	就農者定住促進賃貸住宅・赤江町	2016	木造	364	8	C(3年目)		C(2年目)	
		263	広瀬	安来市オーダーメイド貸工場・下山佐工場	2017	鉄骨造	517	7	C(3年目)		C(2年目)	
		268	安来	就農者定住促進賃貸住宅・下坂田町	2019	木造	96	5	C(3年目)		C(2年目)	
		270	安来	就農者定住促進賃貸住宅・清井町	2020	木造	100	4	C(3年目)		C(2年目)	
		273	安来	就農者定住促進賃貸住宅・福井町	2021	木造	93	3	C(1年目)			
		275	安来	就農者定住促進賃貸住宅・下坂田_2	2022	木造	90	2	C(1年目)			
学校教育系施設	学校	126	安来	島田小学校	1984	鉄筋コンクリート造	3,971	40	C(1年目)	学校施設の長寿命化計画に基づき検討。 (理由)適正配置基本計画で存続の方向性が示されたため方向性と区分変更。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		127	伯太	安田小学校	1972	鉄筋コンクリート造	2,024	52	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		129	伯太	井尻小学校	1995	鉄筋コンクリート造	3,046	29	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		130	安来	宇賀荘小学校	1991	鉄筋コンクリート造	3,281	33	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		132	広瀬	広瀬小学校	1969	鉄筋コンクリート造	4,053	55	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		133	広瀬	広瀬中学校	2006	木造	5,720	18	C(1年目)	学校施設の長寿命化計画に基づき検討。屋根修繕対応。 (理由)適正配置基本計画で存続の方向性が示されたため方向性変更。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。 屋根の修繕対応。
		134	広瀬	安来市教育支援センターあすなる・旧広瀬中学校	1979	鉄筋コンクリート造	3,256	45	C(3年目)		C(2年目)	
		136	安来	荒島小学校	1981	鉄筋コンクリート造	4,901	43	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		138	広瀬	旧山佐小学校	1988	鉄筋コンクリート造	1,241	36	B(1年目)	山佐交流センターの移転先として調査。 (理由)移転に向けた調査実施による方向性と区分変更。	C(2年目)	
		139	広瀬	山佐小学校・元山佐中学校	1990	鉄筋コンクリート造	2,461	34	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
学校教育系施設	学校	140	安来	社日小学校	2005	鉄筋コンクリート造	5,598	19	C(1年目)	学校施設の長寿命化計画に基づき検討。 (理由)適正配置基本計画で存続の方向性が示されたため方向性と区分変更。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		141	安来	十神小学校	1997	鉄筋コンクリート造	5,781	27	C(1年目)	学校施設の長寿命化計画に基づき検討。 (理由)適正配置基本計画で存続の方向性が示されたため方向性と区分変更。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		142	伯太	赤屋小学校	1971	鉄筋コンクリート造	2,004	53	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		143	安来	赤江小学校	1976	鉄筋コンクリート造	4,388	48	C(1年目)	学校施設の長寿命化計画に基づき検討。 (理由)適正配置基本計画で存続の方向性が示されたため方向性と区分変更。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		144	安来	南小学校	2001	鉄筋コンクリート造	3,974	23	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		145	安来	能義小学校	1985	鉄筋コンクリート造	3,309	39	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		147	伯太	伯太中学校	1987	鉄筋コンクリート造	4,617	37	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		148	安来	飯梨小学校	1986	鉄筋コンクリート造	3,285	38	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		149	広瀬	比田小学校・元比田中学校	1989	鉄筋コンクリート造	2,520	35	C(1年目)	学校施設の長寿命化計画に基づき検討。 (理由)適正配置基本計画で存続の方向性が示されたため方向性と区分変更。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		150	広瀬	布部小学校	1983	鉄筋コンクリート造	2,116	41	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		151	伯太	母里小学校	1969	鉄筋コンクリート造	1,925	55	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		152	安来	第一中学校	2013	鉄骨コンクリート造	9,038	11	C(1年目)	学校施設の長寿命化計画に基づき検討。 (理由)適正配置基本計画で存続の方向性が示されたため方向性と区分変更。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		153	安来	第二中学校	1982	鉄筋コンクリート造	3,898	42	B(1年目)	小中学校適正配置基本計画に基づき検討。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		154	安来	第三中学校	1984	鉄筋コンクリート造	5,836	40	C(1年目)	学校施設の長寿命化計画に基づき検討。 (理由)適正配置基本計画で存続の方向性が示されたため方向性と区分変更。	B(2年目)	小中学校の適正配置基本方針に基づき検討。
		255	安来	給食センター	2015	鉄骨造	2,256	9	C(3年目)		C(2年目)	

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R 6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
子育て支援施設	幼稚園・保育園・こども園	34	伯太	認定こども園安田	2003	木造	981	21	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		35	安来	安来保育所	1984	鉄筋コンクリート造	838	40	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		36	伯太	認定こども園井尻	1999	木造	597	25	C(3年目)	R6年度から休園。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		38	広瀬	認定こども園広瀬	2000	鉄骨造	924	24	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		39	安来	認定こども園荒島	1986	鉄筋コンクリート造	1,178	38	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		41	伯太	認定こども園赤屋	2005	木造	432	19	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。 (当面は、基準を適用させない。)	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。 (当面は、基準を適用させない。)
		43	安来	切川保育所	1989	鉄筋コンクリート造	525	35	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		44	安来	認定こども園飯梨	1979	鉄骨造	666	45	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		45	広瀬	認定こども園比田	1979	鉄骨造	406	45	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。 (当面は、基準を適用させない。)	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。 (当面は、基準を適用させない。)
		46	広瀬	認定こども園布部	1996	木造	481	28	C(3年目)	R6年度から休園。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		47	伯太	認定こども園母里	1978	鉄骨造	660	46	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		50	安来	認定こども園大塚	1992	鉄筋コンクリート造	527	32	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		128	安来	安来幼稚園	1981	鉄筋コンクリート造	1,039	43	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。
		131	安来	宇賀荘幼稚園	1987	鉄筋コンクリート造	443	37	C(3年目)	H26年度から休園。(現在、学童保育で使用)	C(2年目)	H26年度から休園。(現在、学童保育で使用)
		146	安来	能義こども園	1983	鉄筋コンクリート造	425	41	C(3年目)	R2年度から休園。(教育支援センター分室として機能変更し運用)	C(2年目)	R2年度から休園。(教育支援センター分室として機能変更し運用)
	158	安来	島田こども園	1985	鉄筋コンクリート造	487	39	C(3年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	C(2年目)	R4年度から開園基準を設けて運営。	
	幼児・児童施設	32	安来	赤江放課後児童クラブ	2009	軽量鉄骨造	99	15	C(3年目)		C(2年目)	
		33	安来	十神学童保育施設	2002	軽量鉄骨造	99	22	C(3年目)		C(2年目)	

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R 6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
子育て支援施設	幼児・児童施設	48	安来	旧安来市親子交流センター・旧十神幼稚園	1973	鉄骨造	727	51	B(3年目)	耐震性が無い為、解体後の跡地利用を検討。	B(2年目)	耐震性が無い為、解体後の跡地利用を検討。
		49	安来	安来市親子交流センター・旧城谷保育所	1976	鉄骨造	497	48	C(3年目)		C(2年目)	
		135	広瀬	旧広瀬幼稚園	1987	鉄筋コンクリート造	802	37	C(3年目)		C(2年目)	
		254	伯太	母里放課後児童クラブ	2015	軽量鉄骨造	99	9	C(3年目)		C(2年目)	
		256	安来	南放課後児童クラブ	2015	軽量鉄骨造	99	9	C(3年目)		C(2年目)	
		271	安来	赤江放課後児童クラブ_2	2020	軽量鉄骨造	101	4	C(3年目)		C(2年目)	
保健・福祉施設	高齢福祉施設	20	安来	養護老人ホーム鴨来荘	1978	コンクリートブロック造	1,648	46	A(1年目)	移転新築。 (理由)実施設計完了による方向性変更。	A(2年目)	基本構想を踏まえ建替の実施設計を実施。
		21	伯太	安田老人福祉センター	1993	木造	373	31	C(3年目)		C(2年目)	
		22	伯太	井尻老人福祉センター	1999	木造	312	25	C(3年目)		C(2年目)	
		23	伯太	赤屋老人福祉センター	1995	木造	287	29	C(3年目)		C(2年目)	
		25	伯太	高齢者生活福祉センター	1996	鉄筋コンクリート造	3,022	28	C(3年目)		C(2年目)	
		31	広瀬	高齢者福祉施設つどいの里ひろせ	1972	鉄筋コンクリート造	2,612	52	B(3年目)	施設のあり方を整理。	B(2年目)	施設のあり方を整理。
	保健施設	24	安来	ふれあいプラザ	2002	木造	1,652	22	A(3年目)	施設の運営を含め様々な視点から検討。	A(2年目)	施設の運営を含め様々な視点から検討。
		54	広瀬	健康福祉センター	1999	鉄骨鉄筋コンクリート造	1,538	25	C(3年目)		C(2年目)	
医療施設	医療施設	51	伯太	赤屋診療所	1978	鉄骨造	170	46	C(1年目)	(理由)新たな診療体制で運営開始するため区分変更。	B(2年目)	診療所機能のあり方を整理。
		52	伯太	安田診療所	1981	鉄骨造	140	43	B(1年目)	施設の新たな活用方法を検討。 (理由)診察終了に伴い方向性変更。	B(2年目)	診療所機能のあり方を整理。
		53	伯太	井尻診療所	1979	鉄骨造	220	45	C(1年目)	(理由)新たな診療体制で運営開始するため区分変更。	B(2年目)	診療所機能のあり方を整理。
		242	広瀬	さくら寮	2000	鉄骨造	894	24	C(3年目)		C(2年目)	

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
医療施設	医療施設	243	広瀬	医師住宅3F建	1994	鉄筋コンクリート造	572	30	C(3年目)		C(2年目)	
		244	広瀬	医師住宅・県	2002	コンクリートブロック造	242	22	C(3年目)		C(2年目)	
		245	広瀬	医師住宅6号	1978	木造	199	46	A(2年目)	売却。	A(1年目)	売却。 (理由)売却に向け進めるため区分変更
		246	広瀬	なかよしキッズ	1978	木造	199	46	C(3年目)		C(2年目)	
		247	広瀬	市立病院	1971	鉄骨鉄筋コンクリート造	12,392	53	A(3年目)	今後のあり方を検討。	A(2年目)	今後のあり方を検討。
行政系施設	庁舎等	3	広瀬	安来市役所広瀬庁舎	1966	鉄筋コンクリート造	1,796	58	A(3年目)	複合施設の建替に合わせ解体。(実施設計の実施)	A(2年目)	複合施設として建替を検討。(実施設計の実施)
		8	伯太	伯太庁舎	1999	鉄筋コンクリート造	4,321	25	C(3年目)		C(2年目)	
		259	安来	新安来庁舎	2017	鉄骨鉄筋コンクリート造	7,596	7	C(3年目)		C(2年目)	
		267	安来	防災研修棟・市民広場	2018	鉄骨造	498	6	C(3年目)		C(2年目)	
	消防施設	114	伯太	安田消防コミュニティセンター	1997	鉄骨造	142	27	C(3年目)		C(2年目)	
		115	伯太	井尻消防コミュニティセンター	2003	鉄骨造	142	21	C(3年目)		C(2年目)	
		116	伯太	赤屋消防コミュニティセンター	2001	鉄骨造	192	23	C(3年目)		C(2年目)	
		118	伯太	母里消防コミュニティセンター	1999	鉄骨造	192	25	C(3年目)		C(2年目)	
		119	広瀬	安来市消防署広瀬分署	1974	鉄骨造	272	50	C(3年目)		C(2年目)	
		121	伯太	安来市消防署伯太分署	1974	鉄骨造	190	50	C(3年目)		C(2年目)	
		122	広瀬	安来市消防署比田分駐所	1974	鉄骨造	134	50	A(2年目)	旧トスカ解体後、比田防災拠点施設の整備。	A(1年目)	旧トスカ解体後、比田防災拠点施設の整備。 (理由)跡地の利用計画に合わせ区分変更。
		222	伯太	旧赤屋第3班格納庫	1992	木造	50	32	C(3年目)		C(2年目)	

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
行政系施設	消防施設	252	安来	安来市消防署	2014	鉄筋コンクリート造	4,156	10	C(3年目)		C(2年目)	
		253	広瀬	広瀬分団拠点施設	2013	鉄骨造	192	11	C(3年目)		C(2年目)	
		260	安来	安来南消防団拠点施設・元大塚駐在所	2002	木造	111	22	C(3年目)		C(2年目)	
		265	広瀬	山佐分団消防拠点施設	2017	木造	102	7	C(3年目)		C(2年目)	
		266	広瀬	布部分団消防拠点施設	2018	木造	155	6	C(3年目)		C(2年目)	
公営住宅等	公営住宅等	85	広瀬	殿町住宅	1982	プレキャストコンクリート造	528	42	B(3年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。	B(2年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。
		86	広瀬	石原町帳団地	2009	木造	1,680	15	C(3年目)		C(2年目)	
		87	伯太	御崎団地	1983	プレキャストコンクリート造	2,070	41	C(3年目)		C(2年目)	
		89	伯太	招団地	1979	プレキャストコンクリート造	1,715	45	B(3年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき規模縮小して建替。	B(2年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき規模縮小して建替。
		90	伯太	城山団地	1998	木造	661	26	C(3年目)		C(2年目)	
		91	伯太	石堂前団地	1981	プレキャストコンクリート造	245	43	B(3年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。	B(2年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。
		92	安来	長谷津団地	1972	プレキャストコンクリート造	5,905	52	A(3年目)	土地、建物の売却を検討。	A(2年目)	土地、建物の売却を検討。
		93	安来	内代団地	2001	鉄筋コンクリート造	3,155	23	C(3年目)		C(2年目)	
		94	安来	柳団地	1998	鉄筋コンクリート造	2,205	26	C(3年目)		C(2年目)	
		95	安来	和田団地	1983	プレキャストコンクリート造	4,390	41	C(3年目)		C(2年目)	
		96	安来	糺団地	1993	鉄筋コンクリート造	2,052	31	C(3年目)		C(2年目)	
		97	安来	わらび谷団地	1980	プレキャストコンクリート造	2,346	44	B(3年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき規模縮小して建替。	B(2年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき規模縮小して建替。
		98	伯太	安田団地	2002	木造	4,012	22	C(3年目)		C(2年目)	

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R 6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
公営住宅等	公営住宅等	99	安来	臼井団地	2004	鉄筋コンクリート造	1,659	20	C(3年目)		C(2年目)	
		100	広瀬	広瀬住宅2	1992	木造	90	32	B(3年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。売却を検討。	B(2年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。売却を検討。
		101	安来	汐彩団地	2006	木造	1,511	18	C(3年目)		C(2年目)	
		103	広瀬	西比田住宅	1973	木造	182	51	B(3年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。売却を検討。	B(2年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。売却を検討。
		104	安来	末広団地	1971	プレキャストコンクリート造	1,416	53	A(1年目)	大塚団地として整備。(理由)大塚団地建設事業着手による方向性変更。	A(2年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき規模縮小して建替。(実施設計の実施)
		105	安来	大栄団地	1971	プレキャストコンクリート造	944	53	A(1年目)	大塚団地として整備。(理由)大塚団地建設事業着手による方向性変更。	A(2年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき規模縮小して建替。(実施設計の実施)
		106	広瀬	町帳住宅	1979	プレキャストコンクリート造	660	45	B(3年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。	B(2年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。
		107	広瀬	布部住宅	1982	コンクリートブロック造	264	42	C(3年目)		C(2年目)	
		108	広瀬	布部住宅1	1971	木造	59	53	A(3年目)	売却。	A(2年目)	売却。
		196	広瀬	栄町住宅	2013	木造	748	11	C(3年目)		C(2年目)	
249	広瀬	上山佐住宅	1979	木造	82	45	B(3年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。	B(2年目)	公営住宅等長寿命化計画に基づき用途廃止。		
公園	公園	57	安来	なかうみ農村公園	2000	木造	74	24	B(3年目)	管理棟のあり方を検討。	B(2年目)	管理棟のあり方を検討。
		58	安来	出雲織・のき白鳥の里	2003	木造	216	21	C(3年目)		C(2年目)	
		63	広瀬	野だたらと椿の里	1993	木造	84	31	C(3年目)		C(2年目)	
		71	安来	安来公園演舞場	2003	鉄骨造	91	21	C(3年目)		C(2年目)	
		80	安来	清水公園宝物館前パブリックトイレ	2000	木造	53	24	C(3年目)		C(2年目)	
		81	安来	野鳥観察施設	1991	木造	82	33	C(3年目)		C(2年目)	
		272	安来	中海ふれあい公園	2016	木造	256	8	C(3年目)		C(2年目)	

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R 6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
供給処理施設	供給処理施設	12	安来	クリーンセンター穂日島	1992	鉄骨造	828	32	B(1年目)	水処理施設の改修について検討。 (理由)伯太最終処分場の埋立終了を見据えて区分と方向性を変更。	C(2年目)	
		13	広瀬	広瀬一般廃棄物最終処理場・畑処分場	1990	鉄筋コンクリート造	253	34	B(3年目)	R6年度で最終処分場は廃止。	B(2年目)	R6年度で最終処分場は廃止。
		14	安来	高尾クリーンセンター	1992	鉄骨造一部RC造	1,042	32	C(3年目)		C(2年目)	
		15	安来	清瀬クリーンセンター	1994	鉄骨鉄筋コンクリート造	1,995	30	C(3年目)		C(2年目)	
		16	安来	安来市対仙浄園汚泥再生処理センター	1990	鉄筋コンクリート造	1,741	34	C(3年目)		C(2年目)	
		17	伯太	伯太一般廃棄物最終処理場・オケ峠処分場	1985	鉄筋コンクリート造	296	39	C(3年目)		C(2年目)	
		62	伯太	伯太町小水力発電所	2015	鉄筋コンクリート造	68	9	C(3年目)		C(2年目)	
		79	広瀬	布部小水力発電所	1954	木造	100	70	C(3年目)	施設更新	C(2年目)	施設更新
インフラ施設	上水道施設	236	広瀬	川平浄水場	2004	コンクリートブロック造	216	20	C(3年目)		C(2年目)	
		238	伯太	原代浄水場	2006	鉄筋コンクリート造	836	18	C(3年目)		C(2年目)	
		239	伯太	新小竹浄水場	1980	コンクリートブロック造	65	44	C(3年目)		C(2年目)	
		240	安来	今津水源地	1974	コンクリートブロック造	223	50	C(3年目)		C(2年目)	
		241	安来	西荒島ポンプ場	1985	コンクリートブロック造	51	39	C(3年目)		C(2年目)	
	下水道施設	227	広瀬	西比田地区農業集落排水施設	2001	鉄筋コンクリート造	187	23	C(3年目)		C(2年目)	
		228	安来	新十神ポンプ場	1981	鉄筋コンクリート造	632	43	C(3年目)		C(2年目)	
		229	伯太	母里地区農業集落排水施設・原代	1993	鉄筋コンクリート造	489	31	C(3年目)		C(2年目)	
		230	伯太	井尻地区農業集落排水施設	1994	鉄筋コンクリート造	209	30	C(3年目)		C(2年目)	

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R 6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
インフラ施設	下水道施設	231	伯太	安田地区農業集落排水施設	1998	鉄筋コンクリート造	747	26	C(3年目)		C(2年目)	
		232	伯太	赤屋地区農業集落排水施設	1998	鉄筋コンクリート造	216	26	C(3年目)		C(2年目)	
		233	安来	宇賀荘地区農業集落排水施設	1999	鉄筋コンクリート造	245	25	C(3年目)		C(2年目)	
		234	安来	大塚地区農業集落排水施設	1999	鉄筋コンクリート造	215	25	C(3年目)		C(2年目)	
		235	安来	能義地区農業集落排水施設	2001	鉄筋コンクリート造	175	23	C(3年目)		C(2年目)	
		237	安来	吉田地区汚水処理施設	2002	鉄筋コンクリート造	125	22	C(3年目)		C(2年目)	
		264	安来	南十神雨水ポンプ場	2017	鉄筋コンクリート造	191	7	C(3年目)		C(2年目)	
その他	その他	2	広瀬	グレーダ車庫	1972	鉄骨造	119	52	C(3年目)		C(2年目)	
		5	広瀬	旧比田小学校	1976	鉄筋コンクリート造	2,388	48	C(3年目)		C(2年目)	
		6	広瀬	宿泊施設ひろせ	1997	鉄筋コンクリート造	1,226	27	C(3年目)		C(2年目)	
		18	安来	安来バスターミナル	2000	木造	188	24	C(3年目)		C(2年目)	
		37	広瀬	旧西谷児童館	1969	鉄骨造	185	55	C(3年目)		C(2年目)	
		40	広瀬	山佐児童館	1968	鉄骨造	238	56	C(3年目)		C(2年目)	
		61	広瀬	比田いきいき交流館	2004	鉄骨造	229	20	C(1年目)	(理由)小さな拠点づくり事業(交通拠点)による改修完了により区分変更。	A(2年目)	小さな拠点づくり事業(交通拠点)として施設改修。
		76	安来	荒島駅前自転車駐車場	2000	木造	364	24	C(3年目)		C(2年目)	
		82	伯太	除雪車車庫・伯太町赤屋1	1974	鉄骨造	50	50	C(3年目)		C(2年目)	
		111	安来	安来駅前自転車駐車場	1991	木造	21	33	C(3年目)		C(2年目)	
		117	広瀬	広瀬地域センター車庫	1966	鉄骨造	224	58	A(3年目)	現状を維持し、広瀬庁舎解体に合わせ避難所物資保管倉庫としての活用を検討。	A(2年目)	現状を維持し、広瀬庁舎解体に合わせ避難所物資保管倉庫としての活用を検討。

大分類	中分類	施設No.	地区	施設名	建築年度	主要構造	延床面積(m ²)	経過年数(年)	R6以降の区分	R 6以降の方向性 ※(理由)→ 区分及び方向性の変更理由	R5旧区分	R5旧方向性
その他	その他	123	伯太	井尻交流センター倉庫	1972	木造	53	52	C(3年目)		C(2年目)	
		155	広瀬	安来市お試し梶福留住宅	1992	木造	82	32	C(3年目)		C(2年目)	
		156	伯太	伯太中寄宿舍・若竹寮	1970	鉄筋コンクリート造	1,100	54	C(3年目)		C(2年目)	
		157	伯太	伯太中教員住宅	1973	木造	261	51	C(3年目)		C(2年目)	
		171	広瀬	旧奥田原小学校	1979	鉄筋コンクリート造	1,517	45	C(3年目)		C(2年目)	
		211	安来	安来市斎場独松山霊苑	1982	鉄筋コンクリート造	821	42	A(3年目)	長寿命化計画を策定し、炉の更新、土砂災害に対する改修、リニューアルを検討。	A(2年目)	長寿命化計画を策定し、炉の更新、土砂災害に対する改修、リニューアルを検討。
		212	広瀬	旧宇波公民館	1968	鉄骨造	344	56	B(3年目)	解体、跡地利用を検討。	B(2年目)	解体、跡地利用を検討。
		214	伯太	旧十年畑小学校	1929	木造	1,264	95	C(3年目)		C(2年目)	
		215	伯太	旧赤屋小学校小竹校舎	1959	木造	1,168	65	C(3年目)		C(2年目)	
		216	伯太	旧伯太町役場分室	1965	鉄骨造	438	59	C(3年目)		C(2年目)	
		218	広瀬	旧秦邸	不明	木造	794	不明	C(3年目)		C(2年目)	
		219	広瀬	旧比田郵便局	不明	木造	130	不明	C(3年目)		C(2年目)	
		221	伯太	旧伯太町母子健康センター	1972	鉄骨造	265	52	C(3年目)		C(2年目)	
		223	伯太	旧母里駐在所	不明	木造	61	不明	C(3年目)		C(2年目)	
		224	広瀬	旧トスカ工場	1973	鉄骨造	1,646	51	A(3年目)	建物解体後、比田防災拠点施設の整備。	A(2年目)	建物解体後、比田防災拠点施設の整備。(実施設計の実施)
		248	伯太	赤屋バスターミナル	2001	鉄骨造	39	23	C(3年目)		C(2年目)	
257	広瀬	山佐備蓄倉庫・元山佐駐在所	1976	木造	71	48	A(2年目)	協定に基づき山佐地区自治協議会へ譲渡。	A(1年目)	協定に基づき山佐地区自治協議会へ譲渡。(理由)地元への譲渡条件を満たしたため区分変更。		
274	広瀬	比田中学校教員住宅	1991	木造	82	33	C(3年目)		C(2年目)			

公共施設等総合管理計画【資料編】に係わるQ & A

Q 1. 【資料編】は毎年度更新するのか？

公共施設利活用推進会議(※公共施設等総合管理計画 本編32ページ参照)により決定した内容を反映し毎年度更新します。

Q 2. A B Cの区分は毎年度変更するのか？

A B Cの区分は、令和4年度以降10年間の優先度を定めたものであるため原則変更はありません。但し、施設の実情等を考慮し、公共施設利活用推進会議により区分を変更した場合は、変更した理由を記載します。

Q 3. A B Cの区分は、建替や改修を行う順序を表すものか？

順序を表すものではなく、令和4年度以降10年間の優先度を表しています。
A:優先度「高」、B:優先度「中」、C:優先度「低」

Q 4. 各施設の方向性が示されてから何年が経過したのかが分からない。

A B Cの区分の横に、その方向性を示して何年目なのかを記載します。
▶例えば『A(2年目)、方向性を建替』としたものは、A=概ね3年以内の建替の方向性を示してから2年目。を表します。

Q 5. A又はB区分で、方向性に対する最終的な結論に達した場合、その後の区分はどうなるか？

最終的な結論に達した後の、区分・方向性に変更します。
▶例えば、A区分で建替の方向性を示していた施設について、建替を完了した場合は、『C(1年目)、方向性を現状維持』へと変更します。

Q 6. A又はB区分で、方向性に対する結論(最終的ではないもの)が期間内に出た場合、その後はどうなるか？

次の段階の方向性へ変更し、区分は当初(令和4年度)と変わらず継続します。
▶例えば、A区分で改修実施設計の方向性を示した施設について、3年以内に実施設計を完了した場合、次の段階として改修工事へと方向性を変更し、『A(1年目)・方向性を改修工事实施』へと変更します。

Q 7. A又はB区分で、方向性に対する結論が期間内に出なかったものはどうなるか？

区分・方向性ともに継続し、早期に結論が出せるよう取り組みを継続します。
▶例えば、A区分で改修実施設計の方向性を示した施設について、3年経過後も実施設計が完了しなかった場合、経過年数を4年目として『A(4年目)・方向性を改修実施設計の実施』として継続します。

Q 8. B区分で、方向性に対する結論が出ず7年経過したものは、残り3年間はA区分になるか？

区分の変更は行わず、『B(8年目)』と表します。
残り3年の内に方向性に対する結論が出せるよう取り組みを継続します。(Q2参照)